



広報

なま

市民の友

第601号 毎月1回発行

2001年 (平成13年)

2月

発行●那覇市 編集●広報統計課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎ 867-0111 ●印刷(協)丸正印刷

「那覇市民の時間」毎週日曜日
R.O.K. 午前11時45分から55分まで

みんなのひろば
ラジオ大坂



2001
消防出初式

新都心の空に カラフルな放水

21世紀が幕を開けたばかりの1月6日、那覇新都心内の広場で、「2001年那覇市消防出初式」が行われました。
2001年1月現在、那覇市の消防は1本部・4課・2消防署・6出張所・1消防団を配置、消防職員250人、消防団員66人を擁し、消防車両は水槽付きポンプ車15台・梯子車3台・化学車2台・救助工作車2台・高規格車2台を含む救急車6台・その他の車両23台、合計51台を配置して、火災やその他の災害から30万市民の生命

と財産を守るため日夜活動しています。
出初式では、翁長市長による特別点検やマーチングバンドなどのアトラクションのあと、6色の水が新都心の空高く放水されると、つめかけた市民から盛んな拍手がわきおこりました。続いて行われた展示訓練では、那覇市を震度6強の地震が襲ったことを想定し、倒壊家屋や瓦礫に押しつぶされた車両、大型バスに閉じこめられた乗客の救助など、本番さながらの訓練が繰り広げられました。

主な紙面

- (2面) 二〇〇一年新世紀を祝
特別窓口設置
- (3面) 輝け新世紀 新成人
- (4面・5面) 日常の中の女性への人権侵害
- (6面) ごみ処分手数料が改定されます
- (7面) 情報P.A.C.K

世界遺産

「琉球王国のグスク及び関連遺産群」①

首里城跡 (しゅりじょうあと)

首里城跡は、世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」を代表する遺産といえます。

首里城は、伝説によれば、最初の王統といわれる天孫子(てんそんし)以来、歴代王統の居城とされてきました。

しかし、近年行われた発掘調査によつて、およそ十四世紀ごろからその存在が確認され、一四二九(宣徳四)年に尚巴志(しょうはし)により儀礼や行事、政治の場として機能つて国家統一が成されて以降、一八七九(明治十二)年、廃藩置県によつて王国が失われるまでの間、国王の住まい、王国の政治の中心でした。

東西約四〇〇m、南北二七〇m、総面積は、約六二、〇〇〇mにおよび、琉球石灰岩で構成された高台の聖域から、中国から輸入された高価な陶磁器などが多数出土し、注目を集めています。

これらの出土品は、一括して国の重要文化財に指定されました(沖縄県立埋蔵文化財センター所蔵)。

このように、「琉球王国」の歴史・文化を如実に物語る遺跡として、「首里城跡」は世界遺産に加えられました。

(那覇市教育委員会文化財課)

